

2025年7月29日  
北陸原子力懇談会  
金沢大学

報道関係各位

**放射線について学ぼう！**  
**金沢大学アイソトープ総合研究施設見学会の開催について**

今般、北陸原子力懇談会（会長：村本健一郎）と金沢大学との共催（協力：北陸地域アイソトープ研究会）により、下記のとおり、病気を「見える化」するための画像診断薬や治療薬を研究している金沢大学アイソトープ総合研究施設の「次世代層向け見学会」を実施します。

つきましては、当日のご取材を頂きますよう宜しくお願いします。

記

1. 日 時 2025年8月5日(火) 13時15分～15時30分
2. 場 所 金沢大学 疾患モデル総合研究センター  
アイソトープ総合研究施設  
(石川県金沢市宝町13番1号)
3. 見学者 金沢市立紫錦台中学校 12名
4. 見学内容 別添チラシ「放射線について学ぼう！」をご覧ください
5. 取材に関するお願い
  - ・集合時間/場所は13時00分、アイソトープ総合研究施設玄関前です。
  - ・取材の際は各社記者章を携帯し、腕章等で報道関係者であることを明示してください。
  - ・一時的に放射線管理区域に入るため、名簿の記入や、お渡しする線量計の携帯等入館手続きにご協力ください。
  - ・取材をご希望する場合は、8月4日(月)15時までに別紙「取材申込書」の内容をメールもしくはFAXで北陸原子力懇談会まで送付してください。

以上

北陸原子力懇談会は、北陸の産業経済人が中心となり、1977年10月に設立され、原子力をはじめとするエネルギーミックス、放射線などについての正確な情報を地域の皆さまに提供し、関心をもっていただくとともに正しい理解を得ることを目的として、講演会や見学会などの事業を展開しています。

<見学・取材に関する問い合わせ先>

北陸原子力懇談会

担当：安井

電話：076-222-6523

<施設に関する問い合わせ先>

金沢大学疾患モデル総合研究センター

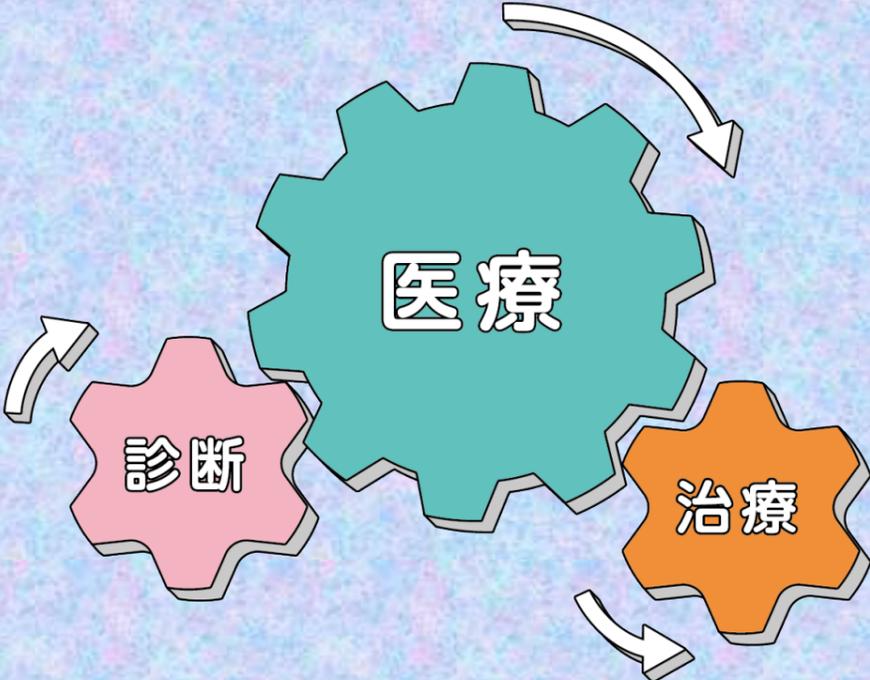
アイソトープ総合研究施設

担当：中島

電話：076-265-2471

# 放射線について学ぼう！

## 金沢大学アイソトープ総合研究施設 見学会のご案内



**ほくげん・こん 北陸原子力懇談会**  
 〒920-0918 金沢市尾山町9-13 金沢商工会議所会館3F  
 TEL : 076(222)6523 FAX : 076(222)8925  
 URL : <https://h-genkon.jp>




### 戸田式電子冷却霧箱の貸出

北陸原子力懇談会では、放射線の飛跡を見ることができる霧箱実験キットを無料で貸出しています。宅配送料も無料です。



## 北陸原子力懇談会

北陸原子力懇談会では、次世代層を対象に原子力や放射線に関する基礎知識を深めてもらうことを目的にセミナーや見学会を実施しています。

今回は、医療分野で役立っている放射線にフォーカスし、病気を「見える化」するための画像診断薬や治療薬を研究している国立大学法人金沢大学アイソトープ総合研究施設を見学します。

## Q1. そもそもアイソトープってなに？

**アイソトープとは、同じ（アイソ：iso-）位置（トープ：tope）という意味で、ギリシャ語から借用して作られた言葉です。**

すべての物質を構成している原子は、原子核（陽子と中性子）と、その周りを回る電子からできています。このうち、陽子の数が同じで、中性子の個数が異なっている原子同士は、質量は異なりますが、化学的性質は同じであることから同じ元素に分類され、**元素周期表の同じ位置にある**という意味で、「**アイソトープ**」（同位体）と言い、また、その中でも**放射線の出すものを「ラジオアイソトープ」**（RI:放射性同位体）といいます。

## Q2. アイソトープを何に使っているの？

**ラジオアイソトープと薬品を混ぜた「放射性医薬品」を人に注射することにより、外部から見えない病気のところや臓器の状況を「放射線」という信号で知らせてくれます。**

「CT検査」「MRI検査」「超音波検査」では具合の悪い位置や大きさがわかります。

一方、ラジオアイソトープを使った検査は、「核医学検査」と言われ、**主に臓器の動き具合（機能）を調べる放射性医薬品がどこに、どのような速さで、どれだけ集まってくるか**を調べることで病気の状態がわかるため、他の検査と組み合わせることで効果的な治療ができます。

## Q3. 施設見学会の内容は？

- ・放射線の基礎知識を学んだ後、放射線を利用する研究施設を見学して見聞を深めます。
- ・実際に見る事のできない放射線を、霧箱を通じて「飛跡」として見る事ができます。

### I. 施設の概要説明（約30分）

- ・放射線の基礎知識
- ・研究施設のあらまし、各フロアの説明
- ・放射線の利用方法
- ・最新の研究

### II. 施設見学（約60分）

- ・各フロアの見学
- ・放射線の飛跡を見てみよう（霧箱の観察）

### III. 終わりに

- ・質疑応答
- ・先生から学生への応援メッセージ

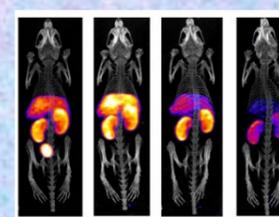


## Q4. アイソトープ総合研究施設ってどんな建物なの？

### 設立の経緯

昭和 27 年 12 月	金沢大学放射性同位元素総合研究室設置 (昭和 39 年 3 月、丸の内団地に移転)
昭和 56 年 7 月	アイソトープ総合センター新営工事竣工
11 月	金沢大学放射性同位元素総合研究室を金沢大学アイソトープ総合センター丸の内サブセンターに改称
平成 15 年 4 月	組織再編に伴いアイソトープ総合センターを学際科学実験センターアイソトープ総合研究施設に改称
令和 3 年 4 月	組織再編に伴い学際科学実験センター アイソトープ総合研究施設を疾患モデル総合研究センター アイソトープ総合研究施設に改称

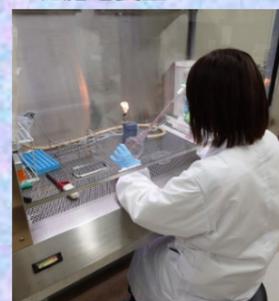
5F 動物イメージング室



4F 標識実験等と測定



3F 標識実験等と測定、  
細胞培養室



1F 打合せ・会議室



2F 学生実習室



## アイソトープ総合研究施設職員から一言

放射線は私たちの身近に存在しており、また放射線や放射性同位体は環境・エネルギー、医療、工業、農業、ライフサイエンス研究など様々な分野で利用されています。

金沢大学の疾患モデル総合研究センター・アイソトープ総合研究施設では、主に医療への応用を目指した研究が進められています。施設見学を通じて、最先端の研究を直接体感いただければと思います。

FAX返信先：076-222-8925（北原懇 安井 行）

メール返信先：kiribako@h-genkon.jp

**8月4日(月) 15時締切**

取材申込書（申込先：北陸原子力懇談会）

<貴社名>

<所属・氏名>

計名

<ご連絡先>（複数名申込みの場合は、代表者1名分で結構です）

電話：

メール：

<問合せ先> 北陸原子力懇談会

担当：安井 電話：076-222-6523

（金沢市尾山町9-13 金沢商工会議所会館3階）